

令和 8 年 度
推 薦 入 学 試 験

現代の国語・
言語文化（近代以降に限る）

広島県立三次看護専門学校
第一看護学科

受験番号() 氏名()

答案作成上の注意

- 1 受験番号、氏名は、解答用紙の所定の欄に必ず記入すること。
- 2 解答は解答用紙の所定の場所に記入すること。
- 3 配布した問題用紙、解答用紙は持ち出してはならない。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

読解の第一の目的地である「状況モデルの表象構築」にはなんとかたどりができず、状況モデルの構築とは、文章を読んでその内容を自分の知識とつなげて頭の中に再現することでした。新たな知識を身につけようとするときはこの目的地までたどり着ければ大満足ですね。教科書を読んだり、マニュアルを読んだりして、「なるほどこういうことか」と理解できたというときには、状況モデルが構築されていると考えられます。

A、私たちの読解はここで終わらないこともたくさんあります。ここでは、文章を読んで理解するだけでなく、内容に感動したりフンガイしたりするような「心を動かす読解」について考えてみましょう。読むことによって、新しい知識を得ることは、「頭の中の変化」と位置付けられますが、何かを読んだことで気持ちに変化が生じるような「心の中の変化」も生じます。心理学では、頭の働きのことを「認知」、感情や気分といった心の働きのことを「感情」と呼んでいます。「表象構築の読解」の先には、特定の感情が生じたり、感情に変化が生じたりする「心を動かす読解」があるのです。たとえば、主人公が苦しい状況を乗り越えていく物語を読んで、人々を苦しめる世界のありように腹を立てたり、それを乗り越えた主人公をソンケイしたり、自分もそうなりたいと願ったりする経験は多くの人がキョウウウウしています。

感情という言葉には様々な心の動きが含まれますが、そのなかでも、特定の対象や事柄に対して喜びや悲しみ、怒りといった意識が生じることを特に「情動」と呼びます。情動について先駆的な研究を行ったエクマンは、人間に基本的な情動として、幸福、怒り、悲しみ、嫌悪、驚き、恐怖の六つがあるのではないかと言っています。どのような文化のもとに暮らしていても、人間であれば持っている情動があると考えられるのです。

私たちが認識する様々な「気持ち」はこの基本的な情動と、これらを複合したり中間的だったり、微妙で複雑なものが様々に含まれます。そのような微妙で複雑な情動のありようや、その表現の仕方には国や文化による違いがあります。また同じ場面を見ても生じる情動が人によって異なることもありますね。文化や国だけでなく、その人の置かれた状況によっても情動は変化すると考えられます。

B、親友が恋人と歩いているのをみたときに、「親友が幸せでうれしい」と幸福・喜びを感じることもあれば、（相手によっては）「どうしてあんな相手と付き合うんだ！」と怒りがワくこともあるでしょう。一緒に遊べないことを悲しいと感じるかもしれません。あなたの虫の居所が悪ければ「あいっただけ幸せになるなんて」と妬みの情動が生じるかもしれません。このように、特定の状況を認識したときにどのような情動が生じるかは、表面的な事実（「親友が恋人と歩いている」）だけでは決まらず、その背後にある様々な情報、また情報の受け手の感情状態によって決定されると言ってもよいでしょう。

読解に視点を戻してみましょう。理解表象を構築するには、書き手が提示した情報をもとにつながりを作っていくことが必要でした。したがって、そのテキストベースが適切に構築されているかどうかは、文章中に示されている情報間の関連付けと読み手の頭の中のテキストベースにおける関連付けがどの

くらいルイジ^eしているかで判断することができます。これはいわば「親友が恋人と歩いている」と理解した段階だと言えるでしょう。

このあと、状況モデルを考えると、読み手によって異なる知識を書いてある内容に結びつけていくので、少しずつ C が生まれてきます。このとき、構築した状況モデルの先（あるいは中）にどのような感情に関する情報がつながっているかが読み手によって異なってくるのです。文章の内容や読み手の立場・知識によっては、構築される状況モデルやそれに紐づけられる情動^{ひも}が大きく違うこともあり得ます。さきほどの「親友と恋人」の例と同じように、知っていることや自分の状況によって「心の動き」が変わってくるのです。

そうになると、どこからが「アヤマった読解^f」なのかを判断することは難しくなってきます。物語を読んだ後で「この結末では主人公がかわいそうだ」と悲しみを感じる人がいる一方で、「納得いく解決ができてよかった」と幸福感を感じる人がいても、それ自体がおかしいことだとは言えません。このように考えると、「心を動かす読解」の特徴は、その良さを第三者が決定しにくいところにあると言えるかもしれません。

このように言うと「そうだそうだ、だから国語の問題には正解がないはず！」と考える人がいるかもしれませんが、そういうことではありません。国語の読み取りで問題にされるのは、書いてある情報とそこから推論可能なのはなにか、^③理解表象に関する問いです。物語の登場人物がどのように感じた（と文章から推論できる）か、は問題になりますが、そこであなたがどのように心を動かされたかを採点しようとしているわけではないのです。

「あなたがどう感じたか」を問う場合があるとすると、そのときは「どのような状況モデルを作ったか」ということと「あなたの感情」の両方をタズね^gているはずです。つまり、文章中の因果をうまくとらえられたか、ということに加えて、それに対応してどんな感情を持ったかを説明できるかが問われているのです。前半の状況モデルにかかわる部分の適切さと、あなたの感情がどのように対応しているのかのポイントになります。適切な方向で心を動かしているかではなく、適切な状況モデルを構築したうえで、どんなふうに心が動いたのかを説明する力をタメ^hそうとしているのです。

④ 次のような文章を読んだときの心の動きはどうなるでしょうか。

戦士は懸命に剣を振るったが、竜の力には太刀打ちできなかった。迫りくる炎に一步また一步と後退を余儀なくされる。「こちらに退いた^ひのは失敗だったか……」と後悔したのは、すぐ後ろが切り立った崖になっていることに気が付いた瞬間だった。

戦士が竜と戦って崖に追い詰められている、戦士は自分の劣勢に気が付いている、という表象が作れたでしょうか。ここまでは適切に読めているか、正解かどうかを判断できます。ではどのように心が動きましたか？ 高いところが苦手な人は足元がすくむような不安を感じたかもしれません。怖いなあという気持ちが生じたかも。いや、ここからどんなハンゲギⁱが出てくるのかわくわく興奮してきた、という人もいるかもしれませんね。どのような感情が生

起したかに正しい答えはありません。ですがここで「安心した」とか「幸せを感じた」というときには、なぜそう感じたのか、構築した表象との対応を説明する必要があります。

テスト以外でそうした説明が求められることは日常的にはあまりないかもしれませんが、どこまでが書いてあることから構築した表象で、それに対して自分はどのように感じたのかを自分でとらえられるようになることには、^⑤私は意味があると思います。例文で「主人公が危機にオチイ^jっている、でも自分は幸せを感じた」と不一致を意識することで、「そうか、自分はこの竜を助けたいと思っていたんだな」と自分の視点に気づくかもしれません。こうした気づきは、「なぜ自分は竜を助けたいのか」「この物語の竜は自分にとってどのような意味を持つのか」といったより大きな問いに導いてくれるからです。この大きな問いが自分の枠を広げることにつながるのではないのでしょうか。「何を感じようと自由じゃないか、自分は幸せを感じたんだ」で終わりにするのはもったいないです。なぜ自分がそう感じたのか、自分にとってのその物語の意味をより深め、自分の枠を広げる読解ができるはずです。

（犬塚美輪『読めば分かるは当たり前？ 読解力の認知心理学』による。出題の都合上、一部改変した。）

注 エクマン：アメリカの心理学者。

問一 傍線部 a j のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 空欄 A ・ B に当てはまる語を、次の①～⑤の中から選び、番号で答えなさい。

- ① しかし ② そこで ③ たとえば ④ あるいは ⑤ なぜなら

問三 傍線部①「心を動かす読解」とあるが、それがどのような読解であるのかを示した箇所を二十五字以内で探し、最初と最後の五字を抜き出して答えなさい。

問四 傍線部②「その人の置かれた状況によっても情動は変化すると考えられます」とあるが、なぜそのように考えられるのか。文中の言葉を使って五十程度で説明しなさい（句読点なども一字と数える）。

問五 傍線部A「虫の居所が悪ければ」の意味を、端的に説明しなさい。

問六 空欄Cに入る語を、次の①～⑥の中から選び、番号で答えなさい。

- ① 個人 ② 原型 ③ 了解 ④ 個性 ⑤ 正解 ⑥ 変心

問七 傍線部③「理解表象に関する問い」とは何ができていて測られると筆者は述べているか、文中の言葉を使って三十字程度で説明しなさい（句読点なども一字と数える）。

問八 傍線部④「次のような文章を読んだときの心の動きはどうなるでしょうか」とあるが、読み手の心に何が起きると筆者はいうのか、文中の言葉を使って二十字程度で説明しなさい（句読点なども一字と数える）。

問九 傍線部⑤「私は意味があると思います」とあるが、なぜ筆者はそう考えるのか、四十五字程度で説明しなさい。

問十 筆者の述べる「自分の枠を広げること」は、あなたが目指す看護の現場において、どのような意味を持つてくると考えるか。あなた自身の看護や介護、介護、入院等の経験や知識に基づいた具体例を示しながら、二百字程度であなたの考えを述べなさい（句読点なども一字と数える）。